

7/28 JA北いぶき女性部沼田支部から ペーパータオルなどを子どもたちにプレゼント

7月28日（火）JA北いぶき女性部沼田支部（岡田久恵支部長）から小学校に200枚入りのペーパータオルを90パック、中学校に給食配膳用使い捨て手袋100枚入り10箱、認定こども園にペーパータオル40枚入り2箱のプレゼントをいただきました。

この日町長室を訪れた岡田支部長と畑地理事は「部員からコロナウイルスで困っている子どもたちに何かしたいという声が多く上がり、様々なことを我慢している子どもたちの役に立てればと思いました」と話し、受け取った横山町長は「子どもたちが安心して学習できると思います。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



7/30 社協に赤い羽根共同募金の車両

沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）に赤い羽根共同募金の車両が7月30日（木）納車されました。

これまで使用していた車両は20万キロ程走行しており、自動ドアにも支障があったため、この度北海道共同募金会が行っている地域福祉推進事業の助成を受け、新しく車両を導入しました。

車両は8人乗りで今後老人の研修先への移動や町内の配食サービス事業などで使用する予定です。



8/1 熱い夏の涼しいひと時 ゆきものがかり主催の「麦酒の祭」

8月1日（土）まちなかほっとタウン駐車場にて町内の有志で組織する、ゆきものがかり（藤村健一会長）主催の「麦酒の祭」が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響によりビールパーティーや夜高あんどん祭りが中止となったため、同団体は町を元気にしたいと本イベントを企画しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策として来場者数を制限し、入場時に検温とフェイスシールド、ソーシャルディスタンスを保持するための日傘が配布されました。

藤村会長は「コロナ禍で自粛ムードが高まり、何もしないことが良いという風潮だが、それでは町内の経済が回らない。今回のイベントが沼田町を元気にするためのきっかけとなればうれしい」と話していました。

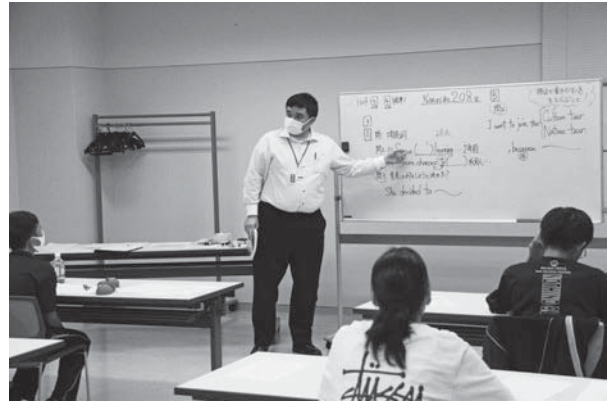


8 / 高校受験に向けて 3-7 木次協力隊員が講師「夏季講習」開催

地域おこし協力隊員で元塾講師の木次大介さんが中学3年生の希望者を対象に英語と数学の夏季講習を8月3日（月）から7日（金）までの5日間行いました。

木次さんは大学卒業後13年間、大手学習塾の講師として全国各地で指導した経験があります。

講習会は連日1時間半開かれ、入試問題を解く演習では「わからない問題はあとにして、なるべく多くの答えを書けるようにする」など点数を上げることに重点を置いた実践的な講習となりました。



8 / 良いトマトが収穫できました 7 今年の加工用トマト入荷

特産品のトマトジュースやトマトケチャップの原料である加工用トマトの受け入れが8月7日（金）始まり、古田努さん（仲町西）が初入荷として約456kgの真っ赤なトマトを持ち込みました。

古田さんは「今年は雨が少なかったので腐れが少なく良いトマトが収穫できた」と話し、横山町長は「毎年の収穫ありがとうございます。良い商品になると思っています」と感謝を述べました。

今年の加工用トマトは29件の農業者で生産され、310トンの入荷を予定しています。



8 / 子どもも大人も一緒に楽しみました 8 第46回町民いこいの広場

毎年恒例の町民いこいの広場（商工会青年部主催）が8月8日（土）行われました。当初7日（金）開催の予定でしたが、悪天候のため延期しての開催となりました。

新型コロナウイルス感染症防止対策として、受付で検温や手指消毒などがしっかりと行われていました。

また子どもたちを元気づけたいという趣旨で子ども盆踊りの後、手持ち花火大会や中学校グラウンドから打ち上げる花火大会などが行われ、子どもと保護者が一緒になって楽しめるイベントとなりました。



8 / 沼田町の有害鳥獣駆除を指導 27 原田勝男氏に感謝状を贈呈

沼田町の有害鳥獣従事者に、くくり罠などの指導をいただき、有害鳥獣従事者の育成及び被害防止に貢献いただいているNPO法人ファームサポート北海道の理事である原田勝男氏に横山町長から感謝状を贈呈しました。

贈呈式で横山町長は「原田さんの指導のおかげで沼田町の有害鳥獣被害が減っており、農作物被害も低減している。まだまだ指導いただくことが多くあると思うので、今後ともよろしくお願ひしたい」と感謝の言葉を述べました。

また沼田町有害鳥獣対策委員会（辻則行会長）からも感謝状が贈呈されました。



8 / 自然の中で遊んで、学んで 29 自然体験プロジェクト「森のようちえん」

8月29日（土）沼田町まるごと自然体験プロジェクトの一環として就学前のお子さんのいる親子を対象にほたる学習館の横で「森のようちえん」が開催されました。雨が降っていましたが子どもたちはアスレチックネットやスラックラインで遊んだり、森の中で散歩をしながら昆虫採集をしたり、落ちていた笹の茎を拾って焚火の燃料にしてマシュマロを焼いて食べたりと、雨の中でも元気に活動していました。



8 / みんなで一緒に考えましょう 29 町民とつながる議会の集い

沼田町議会がこれまでの議会運営に留まることなく、住民参加のまちづくりと議会の役割について広く理解して頂くことを目的に8月29日（土）「町民とつながる議会の集い」が開催されました。

始めに沼田町議会サポーターとして土山希美枝氏（龍谷大学政策学部教授）、西科純氏（議会技術研究会共同代表）また議会モニターとして町民10名が委嘱されました。

その後、土山氏と西科氏から議会の役割についてや議会改革についての講演があり、グループワークではどんな議会だったら良いかという意見を活発に出し合い、町民が議会とのつながる場となりました。



9 / 9 4 もしもの時の「がん」のために 暮らしの保健室講演会が行われました

暮らしの保健室講演会が9月4日（金）ふれあいで行われました。

東京海上日動あんしん生命保険(株)の浦上大輔氏を講師に招き「もしものときの『がん』のはなし」と題した講演は、がんの罹患者数の推移や、もしがんになった時の治療費用などをわかりやすい説明で、会場にいた約20名の町民はスクリーンを見ながら深くうなずいていました。



9 / 9 9 楽しい一日になりました 旭寿園ふれあい祭り

9月9日（水）特別養護老人ホーム旭寿園でふれあい祭りが行われました。例年のご家族や知人をお迎えして開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため入園者と職員で祭りを楽しみました。

祭りでは約2か月かけて入園者と職員が作った吊りあんどんの展示や職員による夜高太鼓の披露、フィナーレでは職員等による「旭寿園音楽隊」の演奏があり、アンコールの「上を向いて歩こう」では横山町長が飛び入り参加。感動して涙する入園者が出るなど大いに盛り上がりました。



9 / 10 ICTを使って健康に 高齢者の見守り事業などに関する連携協定締結

沼田町と奈良県立医科大学MBT研究所、MBTリンク株式会社は9月10日（木）ICTを使った高齢者の見守り事業などに関する連携協定を結びました。

高齢者の健康状態を専用の機器類でデータとして把握し、健康データをもとに健康指導が行え、遠方の家族とデータを共有することで見守りをサポートすることができます。

横山町長は「高齢者やご家族が安心できる環境づくりにつなげていきたい」と述べました。



感謝 深川地方法人会からアルコール消毒液の寄贈

8月31日（月）深川地方法人会から小中学校で新型コロナウイルス感染症拡大予防に役立ててほしいとアルコール消毒液18リットルの寄贈を受けました。

横山町長は「子供たちは不安な日々を過ごしている。今日こうして子供たちのために寄贈いただきありがたい。学びの場に使用させていただきたい。」と贈呈に訪れた廣野辰也沼田支部長に感謝を述べました。



感謝 北空知信金からマスクケースの寄贈

北空知信用金庫（廣上光義理事長）が創立70周年を迎え、その記念事業の一環として新型コロナウイルス感染症拡大防止に使っていただきたいと、この度「抗菌マスクケース」600枚の寄贈を受けました。

9月3日（木）役場に訪れた廣上理事長は「子供たちが給食の時間などマスクを外す時に使用してほしい。コロナ渦の中、子供たちに安心な環境を届けたい」とマスクケースを手渡しました。

今回寄贈を受けた抗菌マスクケースは、小学校と中学校の児童生徒に配られる予定です。



感謝 岩寺木材産業(株)から町へ寄附

9月7日（月）木材販売やガソリンスタンド、不動産などの事業を展開している岩寺木材産業株式会社（代表取締役岩城智則）から会社設立70年目を迎えるにあたり、町に70万円の寄附がありました。

岩城社長は「今まで沼田町にお世話になった。コロナ対策と商工業振興に役立ててほしい」と話し、横山町長は「貴重な寄附をいただき感謝します。商工業の発展はもちろん、町民の安心安全な生活にも使わせていただきたい」と感謝を述べました。

